

鮓おこし



第 17 回定時社員総会を終えて

副会長 中山 光明

富山県社会福祉士会第 17 回定時社員総会が、令和 7 年 5 月 31 日富山県民会館にて開催されました。冒頭に清水会長より、「山王さんのお祭りの日に、総会に参加して頂き感謝しております。令和 7 年 3 月 25 日の臨時社員総会では今年度の予算や事業案を承認して頂き、総会の意義を改めて痛感しました」と話されました。今年度も会員の皆さん、社会福祉士の為に、会の運営を心掛けていくと挨拶がありました。

総会内では、まず 1 号議案 2 号議案 3 号議案が審議されました。1 号議案では各委員会より 2024 年度の事業報告があり、2 号議案では 2024 年度の決算報告が行われました。監査報告にて、監事より財産及び事業の執行は正しく表示していると示していただきました。また 3 号議案の役員改選では、新理事を 2 名迎える事が出来ております。第 17 回定時社員総会の 3 議案とも無事承認され、令和 7 年度がスタート出来る事となり会員の皆様の協力がある事の事と役員一同心より感謝申し上げます。

総会後は、Social Workers Café と題し参加者で交流会を行いました。カフェのような暖かな雰囲気の中でお茶やコーヒー、お菓子などを頂きながら、「社会福祉士の魅力」をテーマに話し合いを行いました。過去・現在・未来、ミクロ・マクロ・メゾと多岐にわたる意見が出ており、良い交流の機会となりました。

令和 7 年度も当会では、会員の皆様の研鑽のお手伝いをはじめ、研修の企画、会員交流の機会を持ち委員会活動を通して、皆様のお手伝いができる様に会の運営をしていきます。

Social Workers Caféに参加して

総会後の交流会に参加された方に、感想を頂きました。今後もこうした社会福祉士会の会員で交流ができる機会も提供していけたらと思います。



木下 詩 織

総会のお知らせと共に洒落な感じのワークスカフェの案内状が同封されていたので、どんな感じの交流会なのか興味があり参加しました。案内文には、「社会福祉士の魅力について、カフェの雰囲気、交流を深めよう」と書いてあり、このフレーズは、去年の11月に茨城県より移住してきました私にとって、大変暖かく、有難いお誘いを感じたからでした。総会終了後、司会の方から説明を受けたあと、会場にいる人たちでテーブルセッティングを行い、1テーブル6名のグループに分かれての交流会となりました。総会の会場がどのようにしてカフェに変身できるのか、少々疑問に思いましたが、なんと！全グループ、司会者の進行にあわせ、お茶とお菓子を頂きながら、和やかな雰囲気の中で自己紹介から始まり、ソーシャルワークの魅力や実際の仕事、将来の夢や現在の悩みについて語り合ったり、実際のソーシャルワークが始まったりと、自由闊達な意見交流が行われ、いずれのお話の中にも、ソーシャルワークへの熱い想いを感じました。今回の交流会で、私は、自身のソーシャルワークへの向き合い方の良い手がかりを得られ、大変有意義な時間となりました。本当にありがとうございました。次回のワークスカフェ開催、よろしくお願いいたします。

かみいち総合病院 宮崎志織

私は8年ぶりに社会福祉士会の研修に参加しました。8年間は子育て奮闘のため研修に参加できませんでした。仕事復帰してからは、初めて関わる関係機関や制度の変化もあり、戸惑うことが多くありました。私の古い知識や考えに気付き、新しい知識や考え方を学ぶ必要性を感じました。

ワークスカフェでは、グループに分かれて「社会福祉士の魅力」について話をしました。リラックスできる音楽を聴きながら、同じ立場で働くMSW、スクールソーシャルワーカー、相談支援専門員、そして独立して事務所を開業している社会福祉士の方々と交流することができました。その中で、「社会の情勢の変化に対応する」「問題解決をサポートする」「専門的知識を活かす」「適切な職種や機関に繋げる」など、社会福祉士の魅力について学ぶことができ、印象に残りました。

近年、患者さんの抱えている問題は複合的な問題が多く、社会福祉士の専門性をもって関わること・関係機関の連携を深めることで、より多くの問題が解決できると思います。これからも積極的に研修に参加し、知識を高め、MSWとして患者様が安心して退院できるように支援していきたいと思っています。もちろん子育ても頑張ります。

新理事の紹介

今年度は、新任理事 2 名の方々を役員にお迎えしました。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

「理事就任にあたって」

のりみねデイサービスセンター 栗原有紀

特別養護老人ホームの生活相談員となったのが 40 年前。介護保険はもちろん、社会福祉士や介護福祉士という資格ありませんでした。今思えば何の心構えもなかった新人の私は、研修などで出会う諸先輩の姿を見て、自分はいつかあのようなになれるのだろうか（いやなれる気がしない）と思ったものです。

そんな私ですから、日々目の前にある仕事に埋もれているうちに時間が過ぎたというのが正直なところ（40 年も！）。とはいえ悩んだり迷ったり、支えたり支えられたりしながら歩いて来た道で何かしら学んだこともあるはず。とりわけ社会福祉士会の基礎研修仲間にはいつも刺激を受け、励まされてきました。

社会の変化の中で介護施設も変化を求められ、取り巻く状況も厳しいものがある中、社会福祉法人はどうあるべきかと考える毎日です。今でも自分のことで精一杯ではありますが、理事として少しでも皆さんのお役に立てることがあれば幸いです。

「新任理事あいさつ」

砺波市役所 石崎 真由子

新しく理事を務めることとなりました、砺波市役所の石崎です。尊敬する先輩方に囲まれながら、少しでも皆様のお役に立てるよう、そして自分自身の学びも深められるよう取り組みたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

私は大学卒業後に社会福祉士として就職し、それと同時に本市で初めて児童福祉分野に配置された社会福祉士となり、今年で 9 年目に突入しました。毎日出会う子育て家庭との関わり方や、行政の福祉専門職としての考え方や姿勢など、ひとりでは悩むこともまだまだ多い日々ですが、職場内外に関わらず本当に多くの方々に助けていただきながらなんとか乗り越えて来られたのかなと感じています。また、様々な研修を通して知識を得ることがモチベーションに繋がり、新鮮な気持ちに切り替える機会になっています。就職 1 年目から 3 年間受講した基礎研修も、私を支えてくれた資源のひとつでした。当時は大学のゼミの先生からおすすめされ、職場の同期を誘って受講しました。どちらかといえば教育分野や保健分野の方とお仕事をする機会が多かったため、多分野で働く同職種の方々との交流は、社会福祉士としての自分を見つめ直すための貴重な機会となり、研修の度にたくさんの元気をチャージして帰宅していたものです。今でもその時の繋がりに助けられることがあります。多くの方が元気になれるきっかけを作れるよう、微力ながらお手伝いできたらと思います。改めて、どうぞよろしくお願いいたします。

権利擁護委員会

「成年後見人材育成研修（委託研修）」を開催します

成年後見人材育成研修(委託研修)（以下、「委託研修」）は、日本社会福祉士会から都道府県社会福祉士会への委託により実施される研修です。専門職後見人としての社会福祉士が身につけるべき知識・技術を修得し、権利擁護センターにおける成年後見人としての一定の力量を確保すること、および、地域で相談援助にあたる者が、成年後見制度活用の知識、技術を修得することを目的に開催されます。本研修の修了は、権利擁護センターばあとなあ後見人候補者名簿に登録し、受任できる者を養成する「名簿登録研修」の受講要件となります。

日程	
1日目 2025年 9月21日（日） 9時～17時	※詳しくは本会 HP に掲載の「開催要項」でご確認ください。 ※受講をご希望の方は、 <u>8月8日正午まで</u> にお申し込み下さい。 (期日前でも締切場合があります。)
2日目 2025年10月19日（日） 9時～17時	
3日目 2025年11月23日（日） 9時～17時	
4日目 2025年12月21日（日） 9時～16時	
会場 1日目～3日目 オンライン（Zoom）	
4日目 富山市内 予定	

★聴講生募集★

成年後見人材育成（養成）研修を受講してから期間の空いた方や受任されている方の自己学習のために聴講生を募集します。対象は人材育成（養成）研修を過去に修了された方です。詳細は会の HP でご確認ください。

子ども家庭支援委員会

告知 子ども支援の現場について、一緒に学んでみませんか？

～子ども家庭支援委員会「研修会」のご案内～

子ども家庭支援委員会 委員長

土田千佳子

今年度、子ども家庭支援委員会でお手伝いさせていただくことになりました、土田千佳子と申します。県内の私立学校でスクールソーシャルワーカーをしております。どうぞよろしくお願いいたします。

このたび、下記の内容で研修会を開催する運びとなりましたので、ご案内いたします。本研修会では、外部講師をお招きし、学校現場を基盤として子ども支援に携わる教職員、スクールソーシャルワーカー（SSW）、および地域の支援者の皆さまと共に、「ソーシャルワークの視点」について学び合います。職種の異なる参加者同士が、それぞれの役割や強みをあらためて見つめ直す機会となること、また地域の教育現場に福祉の視点が広がることを目的としております。

研修概要 ※詳細は改めてご案内いたします

日 時： 10月18日（土） 1日研修

会 場： 富山市内

主 催： 本会子ども家庭支援委員会と日本学校ソーシャルワーク学会との共催

テーマ： 「教育機関におけるソーシャルワーク ～理論を踏まえた実践とは～」

内容としては、法政大学 現代福祉学部福祉コミュニティ学科 教授 高良麻子氏による講義と、愛知県立大学大学院非常勤講師、スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザーである佐々木千里氏による演習を予定しております。

両氏には、システム理論などを用いてソーシャルワークをわかりやすくご解説いただきますので、SSWになじみがない方でも、理論を踏まえたうえで、それを子ども支援の現場でどのように活かすかを実践的に学べるものと期待しております。

さて、文部科学省によるスクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業は2008年にスタートしました。今年で18年目を迎え、県内の学校にも広くSSWが配置されています。

これまで、学校だけでは対応が難しい問題として不登校、いじめ、虐待、暴力行為などの子どもの生活課題が支援の中心でしたが、近年では、スマートフォンを介したトラブルやネットいじめなど、学校からも家庭からも見えにくい問題も増えており、子どもたちを取り巻く環境は一層複雑で危険な状況になっていると感じます。不登校も依然として増加傾向にあります。

こうした中で、SSWには子どもを多面的に捉え、教職員や地域の支援者と連携しながら、子どもの生活全体を支える力がますます求められています。

本研修会は、職能団体である本会と、学術団体である日本学校ソーシャルワーク学会との共催により実施されます。子どもの支援に関心のあるさまざまな職種の方々が、福祉の視点について理論と実践の両面から共に学び合うこのような機会が、地域のSSW事業にどのような効果をもたらすのかを検証する意味も込められています。

当日は、日本学校ソーシャルワーク学会東海北陸ブロック長の鈴木庸裕氏をはじめ、北海道や鳥取などからも研究者・実践者が来県予定で、富山の取り組みに高い関心が寄せられています。また、研修終了後には講師の先生方もご参加くださる懇親会を予定しており、一日を通して「全国の実践」と直接触れ合える貴重な交流の場となることでしょう。

参加対象者は、SSWや学校関係者に限らず、「子どもの支援」に関心のあるすべての方々です。将来SSWになりたいと思っていられる方も大歓迎です。分野や立場を越えて、共に学び、悩みを共有し、支援のヒントを得る場となることを願っております。

なお、会場の都合により定員がございます。参加申込は8月初旬より受付開始予定です。ご関心のある方は、ぜひ日程の確保をお願いいたします。詳細は改めてご案内いたします。皆さまと共に学び合えることを、心より楽しみにしております。

★社会福祉士国家試験全国統一模擬試験を実施します★

社会福祉士国家試験合格を目指す方を対象として、社会福祉士国家試験全国統一模擬試験を実施します。お近くの受験予定の方に周知いただきますようお願いいたします。

主催：一般社団法人富山県社会福祉士会

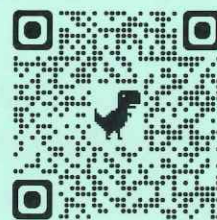
日程：2025年10月5日(日)10:00～15:35

会場：自治労とやま会館（富山市下新町8-16）

受験料：5,300円（振り込み）

申込期限：2025年8月29日（金）

詳細は一般社団法人富山県社会福祉士会のホームページをご覧ください。



↑↑↑↑↑

QRコードを読み込むと

ホームページへアクセスできます。

私のおススメの本

会員の方からオススメのご紹介を頂きました。ジャンル問わず、映画や漫画なども大歓迎です。事務局へメールで原稿をお送りいただくことも可能です。皆さんのオススメは何ですか。

タイトル『一年一組 せんせい あのね こどものつぶやきセレクション』



選者：鹿島和夫
絵：ヨシタケシンスケ
理論社：2023年

小学校教員だった故鹿島和夫氏が、担任を務めた小学1年生との日記ノート《あのね帳》から選んだ子どもたちのつぶやきをまとめた一冊。子どもたちの自由な感性がヨシタケシンスケ氏の絵でのびやかに表現されています。

『りんごのあじは あかちゃんが あそんでいるときのおいだよ』、『せんせいあのね なんでそらのほしは ほしのかたちがしてないの』など、クスツとしつつもなんだか考えさせられるつぶやきが収録されています。

私自身も絶賛子育て中ですが、本書に描かれた子どもたちの瑞々しい気づきや表現に、我が子の目線をほんの少し覗き見たような気持ちになります。

スキマ時間でもサクッと読むことができるので、ぜひ一度手に取ってみてください。（匿名）

事務局からのお知らせ

事務局へのお問い合わせは、E-mail またはお電話でお願いいたします。

(土日・祝祭日を除いた 10:00~15:00)

連絡先 Tel/Fax : 0766-55-5572 E-mail : toyama.csw@gmail.com

会員数 508 名 (令和 7 年 5 月末 時点) 研修を受け自己研鑽に努めましょう。

★鯽おこしの画像を募集

鯽おこしの余白に載せる画像を募集します。

例.) ペットや、富山の風景画、オススメのスポットなど

- ・人物や事業者の許可が必要な画像は扱えません。
- ・掲載する画像は、必ず掲載されるとは限りません。
- ・掲載する際に、画像を加工 (※トリミングや画質の調整など) する場合があります。

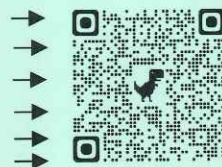
■画像の投稿について↓↓↓

- ・メールのタイトルに『鯽おこし写真投稿』と入力
- 画像の題名、名前【ニックネーム可】を記入し、事務局あてにメールして下さい。

★アンケート★

ご意見をお聞かせください)

皆様のご意見を、鯽おこしに反映させられたらと思います。お気軽にご意見をお寄せください。



アンケートは
こちらから



編集後記

私事ですが、家族旅行で 2025 大阪・関西万博へ行ってきました。ハエの一種である「ユスリカ」が大量発生する前の時期で、苦手な虫と争うことなく、大阪万博を楽しむことができました。来場者数は開幕後から右肩上がりで、一般の来場者数は 818 万 1701 人(6 月 26 日時点)だそうです。大屋根リングから見る景色や、実際に行くことはなかなかできない外国のパビリオンなど、万博でしか味わえない体験ができたように思えます。

今回の鯽おこしは、いつもより少し早めの発行となりました。お知らせの関係で急いで編集致しました。原稿依頼した方の提出期限も、少し短めに設定することになってしまいました。ご協力頂いた皆様ありがとうございました。会員の皆様は、ぜひ同封した研修案内もご覧下さると嬉しいです。そのために、がんばりました。。。

(原田)